

Ⅲ 区民の皆さまのご意見・ご要望を区政に活かします

区は、区民満足度の向上を図るため、区民の皆さまの意見やご要望を把握し、的確に施策へ反映しています。

ここでは、平成 24 年度に実施した「大田区政に関する世論調査※2」の中から区民の皆さまのご要望の一部を紹介するとともに、それに関連する主な事業の 25 年度の実施状況をお知らせします。

1 区民の皆さまからの要望（設問順）

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

バリアフリーやユニバーサルデザインの視点でまちづくりを進めるにあたり、広報や啓発活動で区としてどのような取り組みが必要だと思いますか（いくつでも）。

- 「ユニバーサルデザインの考え方をわかりやすく説明したパンフレットの作成・配布」が36.7%と最も高く、次いで、「学校教育・社会教育の充実」（34.3%）、「高齢者や障がい者などの区民が交流できる場や機会の設置」（29.3%）、「広報誌、ホームページ、ケーブルテレビなどを利用したPR活動」（28.3%）の順となっています。

→関連する主な事業（P. 19 参照）

- ・ ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進
- ・ 誰にもわかりやすいサイン整備

空港臨海部のまちづくり

空港臨海部を、今後区民にとって身近な地域としていくためにはどのようなことが必要だと思いますか（3つまで）。

- 「散策路や緑道の整備」が37.7%と最も高く、次いで、「海辺の自然環境の保全」（33.9%）、「公園緑地や運動施設の整備」（33.1%）の順となっています。

→関連事業（P. 19～20 参照）

- ・ にぎわいのある文化交流拠点の整備
- ・ 世界へ発信する産業支援拠点の整備
- ・ 水と緑のふれあいゾーンの整備
- ・ 海辺の散策路整備
- ・ 空港臨海部将来構想の検討
- ・ 交通ネットワークの検討

【用語解説】大田区政に関する世論調査※2
 調査時期：平成 24 年 7 月 18 日～8 月 5 日
 調査対象：大田区内に居住する満 20 歳以上の男女個人 2,000 人（層化二段無作為抽出法）
 調査方法：郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話及びパソコンを利用した電子申請からの回答も実施。
 回収数：1,181 人（回収率 59.1%）

国際化推進

大田区が行う「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みにより、どのような効果を期待しますか（いくつでも）。

○「地域経済の活性化」が61.2%と最も高く、次いで、「羽田空港の有効活用」（50.1%）、「地域力の向上」（35.4%）、「多様な文化の交流」（30.7%）の順となっています。

→関連事業（P. 20～22 参照）

- ・ 日本語指導教室の充実
- ・ 海外市場開拓支援
- ・ にぎわいを生み出すスポットづくり
- ・ ものづくりのまち体験ツアーの実施
- ・ シティセールスの実施
- ・ 多文化共生推進センターの整備
- ・ 外国人のための日本語教室の充実
- ・ 身近な暮らし情報の発信

防災対策

あなたが、大地震の際の防災対策として、大田区に特に力を入れてほしいことは何ですか（3つまで）。

○「非常用食料・飲料水、災害用トイレなど防災用品の確保」が74.1%、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確保」が51.5%、「情報の収集・伝達手段の確保」が45.5%の順となっています。

→関連事業（P. 22～23参照）

- ・ 橋梁の耐震性の向上
- ・ 防災情報基盤の整備
- ・ 災害時相互支援体制の整備
- ・ 地域防災活動の支援

特に力を入れてほしい施策

あなたは大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか（いくつでも）。

- 「防災対策」が 50.0%と最も高く、半数を占めています。次いで「高齢者対策」（35.9%）、「緑化推進」（35.6%）、「道路の整備」（34.7%）の順となっています。
- 上位 2 位については平成16年以降変動がありませんでしたが、今回は 1 位が「防災対策」、2 位が「高齢者対策」となっています。

→関連事業（P. 22～27 参照）

「防災対策」

- ・ 橋梁の耐震性の向上
- ・ 防災情報基盤の整備
- ・ 災害時相互支援体制の整備
- ・ 地域防災活動の支援

「高齢者対策」

- ・ 高齢者の就労促進・起業支援
- ・ 介護予防の促進
- ・ 地域の見守り体制の整備
- ・ 家族介護者への支援
- ・ さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化
- ・ 介護保険施設等の整備支援
- ・ 高齢者総合相談体制の構築
- ・ 高齢者緊急一時保護・支援体制の整備
- ・ 高齢者等の権利擁護の推進

「緑化推進」

- ・ 公園の整備
- ・ 魅力ある公園のリニューアル
- ・ 呑川緑道の整備
- ・ 桜のプロムナードの整備
- ・ グリーンプランおおたの策定・推進（緑の基本計画改定）

「道路の整備」

- ・ 身近な地域の魅力づくり
- ・ 都市計画道路の整備
- ・ 京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備

2 主な事業の平成 25 年度実施状況

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

事業名	内容	決算額(円)
ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進	<p>おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議（2回）、UD推進部会（3回）、UD普及部会（8回）を開催し、区民等とユニバーサルデザインのまちづくりの普及、推進等について検討し、「心のバリアフリーハンドブック」を作成しました。</p> <p>おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー（UDパートナー）登録制度により、区民45人を登録しました。UDパートナーにより、ユニバーサルデザインの視点で蘇峰公園など11か所の公園・施設等を点検しました。</p> <p>東京都のユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業のモデル地区に指定されている山王、馬込、池上地区において、ユニバーサルデザイン教育の推進等の総合学習支援モデル事業を小学校10校で実施しました。</p>	3,991,670
誰にもわかりやすいサイン整備	<p>区役所本庁舎の地下駐車場壁面（15か所）にアイドリングストップサインを設置したほか、庁舎正面入口階段下に、南北のスロープを案内するサインを設置しました。</p> <p>六郷地域力推進センターの新築工事に伴い、道路境界から主出入口まで及び主出入口から受付カウンターまで、誘導ブロックを設置しました。また、総合案内、各階案内、窓口サイン及び室名サインは、外国語を併記しました。</p> <p>このほか、必要に応じて観光案内サイン（12基）や文化財標識版（5基）の補修・張替を行いました。</p>	1,345,155

空港臨海部のまちづくり

事業名	内容	決算額(円)
にぎわいのある文化交流拠点の整備	<p>「国際戦略総合特区」に加え「国家戦略特区」制度を活用した規制緩和協議を見据え、産業交流施設の整備に向け、関係機関との協議等を行いました。</p> <p>「国家戦略特区」の創設に向けた国の提案募集に対し、東京都と協議し、空港跡地の構想を盛り込んだ提案を東京都が行いました。</p>	7,727,449
世界へ発信する産業支援拠点の整備	<p>羽田空港跡地を含めた空港臨海部の都市づくりのあり方について有識者の意見を聴く政策懇談会と、産業交流施設計画作業部会を開催し、産業交流施設の機能について検討を進めました。</p> <p>羽田空港跡地基盤整備検討部会を開催し、跡地の基盤整備の検討を行うとともに、第1ゾーンにおける道路、街区、駅前広場等の基盤整備に係る調査を実施しました。</p>	
水と緑のふれあいゾーンの整備	<p>また、第1ゾーンにおいて日本の伝統文化や食、農産品等の「クールジャパン」を世界に発信する機能を検討するため、関係団体に対し需要調査を実施しました。</p>	

事業名	内容	決算額(円)
海辺の散策路整備	東京都港湾局との間で「貴船堀、旧呑川における水門廃止と防潮堤及び海辺の散策路整備に関する基本協定」を締結し、水門による散策ルートへの分断を解消するための手法や、都・区の役割分担を定めました。	42,896,700
空港臨海部将来構想の検討	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査を実施（6月～3月）し、状況変化に対応した土地利用の誘導・機能更新に向けて課題の分析やその対策を整理し、重点プロジェクト構想のエリア選定等を行いました。 臨海部3島（昭和島・京浜島・城南島）の工業団体との連携を深め、諸課題についての意見交換等を通じて産業の活性化と魅力あるまちづくりの推進を図るために、臨海部3島連絡協議会を設立しました。	12,021,500
交通ネットワークの検討	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査を実施（6月～3月）し、道路交通実態調査の結果や周辺道路の整備等の状況変化を踏まえ、道路ネットワークの円滑化に資する具体的な施策及び渋滞対策を整理しました。 暫定的な「大田区災害時水上輸送計画」を策定し、整備可能な防災船着場について、検討しました。	

国際化推進

事業名	内容	決算額(円)
日本語指導教室の充実	小学生（75人）、中学生（28人）に、1人60時間の日本語初期指導を実施しました。蒲田小学校、蒲田中学校において、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を実施（小学生27人、中学生42人）しました。	22,540,950
海外市場開拓支援	タイのオオタテクノパーク(OTP)では、入居した4社が操業を開始し、受注実績が当初見込みの3倍になるなど、予想を上回る事業活動を行いました。 ITを活用した中国市場展開は15件ありました。 欧州市場開拓のため、区内企業が参加する現地視察や展示会への出展等を実施し、スイス・ヴォー州との協定締結の準備が行われ、ドイツ・ノルトラインヴェストファーレン州産業労働局との連携がスタートしました。 また、海外見本市への出展支援を実施しました（タイ・中国・台湾・ドイツ合計5展示会、区内企業33社（初出展27社））。 海外取引相談（413件）、中国取引相談（365件）、外国語文書翻訳（57件）を行ったほか、中国市場勉強会（6回）、海外取引セミナー（6回）を開催しました。 中国（5回）・タイ（6回）の市場開拓、その他海外市場の調査（5回）を実施しました。 台湾の企業40社を迎えて大規模な展示交流会を開催しました。	24,486,302

事業名	内容	決算額(円)
にぎわいを生み出すスポットづくり	<p>「おおた商い観光展」にて、観光スポットの紹介・展示、観光まちづくり団体の紹介、マップやパンフレット配布を行いました。また、近代映画発祥の地である蒲田を中心としたまちおこし事業「シネパラ蒲田」を実施し、旧松竹キネマ蒲田撮影所があった当時に撮影された映画の上映会等を行いました(7会場で実施、参加者約4,900人)。</p> <p>区の魅力を再発見していただけるよう、区内の名所をテーマ毎に巡るツアーを実施(6回、参加者延べ1,152人)しました。</p> <p>東京都庁観光コーナーPRブースにて、区の観光関係のパネル展示や、マップを配布しました。</p>	32,933,000
ものづくりのまち体験ツアーの実施	<p>商店街や黒湯温泉、羽田空港等既存の観光資源に、新たに町工場や物流・環境等産業施設を加えた、団体向けの「大田区産業観光モニターツアー」を実施(3回、参加者延べ78人)しました。</p> <p>ツアー実施などに向けた来訪者受入れ環境を整備するため、区内製造業者の受入れ事業に対して補助金制度を創設しました(8社に補助)。</p> <p>町工場の雰囲気をもっと身近に感じてもらうため、簡易な体験や講演等ができるような産業観光交流施設「くりらぼ多摩川」を開設しました(上記モニターツアー、子どもを対象としたモノづくり塾の会場(10回、参加者延べ33人)、事業者がトークをする町工BAR(2回、参加者延べ24人)等に利用)。</p> <p>おおたオープンファクトリー2014(下丸子・武蔵新田駅周辺の企業30社が参加)を実施(参加者延べ800人)しました。</p>	15,154,244
シティセールスの実施	<p>区の観光の魅力を総合的にPRする多言語パンフレット(発行部数:日本語10,000部、英語5,000部、韓国語・繁体字・簡体字各2,000部)を作成しました。作成に当たっては、来~る大田区大使等との意見交換を行い、海外の方にとってより使いやすいものとなるよう、日本語版と外国語版のデザインを変えるなどの工夫をしました。</p> <p>区ホームページに撮影ロケ等に関わる専用の窓口ページを開設し、区にゆかりがあり、区の知名度を向上させる内容の作品について、番組名やロケ内容等の各種情報を提供する体制を整えました。</p>	20,778,135
多文化共生推進センターの整備	<p>区内の多文化共生の拠点である多文化共生推進センターにおいて、3か国語での外国人向け多言語生活相談(931件)、行政情報の翻訳(307件)、区施設への通訳派遣(89件)、多文化交流事業(セーラム市民との交流会:参加者27人、ドイツハウス:参加者285人、ジャパンデイ:参加者73人)等、多文化共生推進プランの計画事業を着実に実施しました。</p>	14,631,746

事業名	内容	決算額(円)
外国人のための日本語教室の充実	日本語ボランティア養成講座を実施（19回、参加者延べ194人）し、区民ボランティアの育成に努めました。 区内の日本語教室との連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員を配置するなど、学習者のニーズに応じた初級日本語講座を実施（全24回、参加者延べ349人）しました。	2,255,200
身近な暮らしの情報の発信	区報と連携した外国人向け多言語情報紙「おおたシティナビゲーション（Ota City Navigation）」を5か国語（英語、タガログ語、中国語、ハングル、日本語）で作成し、8月と1月を除き毎月15日に発行しました。 平成23年に作成したくらしのガイド外国語版を増刷（英語1,000部、中国語1,000部）しました。	3,475,076

防災対策

事業名	内容	決算額(円)
橋梁の耐震性の向上	架替工事について、仲之橋は工事が完了し、供用を開始しました。新馬込橋は、新設橋の上部工架設が完了しました。 耐震補強について、本村橋の修正設計委託が完了し、計画協議を終えました。 天神橋、清水橋、清水橋添架人道橋、宝来橋添架人道橋、北糀谷橋、東橋の落橋防止装置及び補修調査設計委託を実施しました。 清水窪歩道橋の耐震補強工事が完了しました。	669,468,167
防災情報基盤の整備	区報、ホームページ等にアドレスやQRコードを表示し、区民安全・安心メールサービスの広報を行った結果、登録件数は49,284人（前年度比2,234人増）となりました。 緊急地震速報が発せられた際、導入している機器が正常に作動することを確認することにより、運用及び検証を行いました。 18 特別出張所へ配備した無線回線FAXの動作検証を行いました。また、固定系防災無線の動作検証を行い、音量調整（5か所）、スピーカーの方向調整（3か所）を実施しました。	3,150,000
災害時相互支援体制の整備	「大田区要配慮者及び避難行動要支援者計画（全体計画）」を策定しました。 災害時要支援者講習会を開催（1回、参加者334人）し、障がい者特有の被害実態や、必要な支援について学習する機会を設けました。 防災コーディネーターを防災講習会（特別出張所2か所、参加者計130名）に派遣しました。	356,693

事業名	内容	決算額(円)
地域防災活動の支援	<p>災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織（214 団体、前年度比 1 団体増）へ訓練実施等の防災活動経費を助成するとともに、2,000 世帯以上で構成される 56 団体へ、初期消火用スタンドパイプの追加配備を行いました。市民消火隊（147 団体、前年度比 1 団体増）に対しては、D 級ポンプの操法訓練等の消火活動経費を助成しました。</p> <p>起震車、煙体験の派遣（301 回）や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけ及びスタンドパイプを使用した訓練（34 回）等を通じた「共助」意識の啓発を実施しました。</p> <p>消防署と協力し、六郷地区の総合防災訓練において、地域での発災対応型訓練を実施しました。</p>	76,065,281

高齢者対策

事業名	内容	決算額(円)
高齢者の就労促進・起業支援	<p>シルバーまつり会場内に大田区いきいきしごとステーションのブースを設置し、来場者の相談に応じるとともに、チラシ配布などにより同ステーションのPRを行いました。</p> <p>また、合同就労面接会（参加者 112 人）、就職面接会（参加者延べ 86 人）、就労支援セミナー（参加者延べ 127 人）を開催しました。</p>	24,398,490
介護予防の促進	<p>高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査（2,624 件回収）を行い、対象となった 599 人へ二次予防事業を案内しました。また、通所型介護予防教室いきいきシニア塾（運動編 6 日制、参加者延べ 1,792 人）とともに総合プログラム（運動編・栄養編・口腔がセットになった予防講座、12 日制、参加者延べ 2,195 人）をスポーツクラブにて実施しました。その他、閉じこもりやうつ、認知症等できいきシニア塾に通うことができない方を対象に、訪問型による介護予防の個別指導（延べ 98 人）を行いました。</p> <p>元気な高齢者向けに、20 か所のさわやかサポートで介護予防教室（249 回、参加者延べ 3,694 人）、本門寺公園等 4 か所の公園で公園体操講座（48 回、参加者延べ 2,077 人）を開催しました。また、認知症予防講座（4 回、参加者延べ 194 人）や認知症予防体操 6 日制（2 回、参加者延べ 312 人）を実施し、六郷地域力推進センター開所に伴っては、認知症予防体操 2 日制（2 回、参加者延べ 178 人）を開催しました。</p> <p>指導者育成の一環として、ふくし公園・萩中公園で公園体操指導者育成講座（18 回、参加者延べ 240 人）を開催したほか、介護予防活動サポーター養成講座（1 回、参加者延べ 30 人）、介護予防活動リーダー養成講座（1 回、参加者延べ 38 人）を開催しました。</p>	297,816,599

事業名	内容	決算額(円)
地域の見守り体制の整備	<p>各さわやかサポートが地域の関係機関と協同で、講座や講演会を開催したほか、区報、ホームページ、デジタルサイネージ等を用いて高齢者の見守りに関する啓発を行いました。</p> <p>高齢者見守りキーホルダーの登録者拡大に向け、自治会・町会の協力による出張登録会や地域のイベントでの臨時登録窓口の開設を行い、20,125人の登録がありました（前年度比5,615人増）。</p> <p>新たに4事業者を高齢者見守り推進事業者に登録し、区と連携した見守りを強化しました。</p>	13,781,443
家族介護者への支援	<p>1施設（5床）が、東京都のショートステイ整備費補助制度の補助内示を受けました。</p> <p>家族介護者向けの家族介護者情報誌「ゆうゆう」を発行（4回）しました。</p> <p>認知症サポーター養成講座を実施（34回）し、1,095人が認知症サポーターとなりました。</p> <p>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業について、区報や介護保険サービス事業者向けWeb情報提供システム「大田区ケア倶楽部」で周知し、サービスの利用実績は延べ2,977時間でした。</p>	18,343,854
さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化	<p>区が保有する行政情報をさわやかサポートで参照することができる「行政情報参照システム」を運用し、高齢者の支援に必要な情報を迅速に確認するなど、サービスの向上につなげました。</p> <p>さわやかサポート職員の相談対応力の向上を目的に、研修を実施（3回、参加者延べ66人）しました。</p>	617,860,003
介護保険施設等の整備支援	<p>前年度に工事着手した認知症高齢者グループホーム（グループホームのどか池上、グループホーム大森東あやめ、各3ユニット）、都市型軽費老人ホーム（都市型軽費老人ホームのどか池上、ケアハウス大森東あやめ、ケアハウス・ハート糶谷）が開設しました。</p> <p>また、1施設が東京都の特別養護老人ホーム整備費補助制度の補助内示を受けました。</p>	256,685,159
高齢者総合相談体制の構築	<p>高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談（件数1,154件）に対応しました。事業については区報（7回）、統合ポスター、ホームページ、デジタルサイネージのほか、見守りキーホルダー登録時の申請書類等を活用し、周知を行いました。</p>	8,722,413

事業名	内容	決算額(円)
高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	<p>緊急支援体制の強化として、区内警察署との連絡会議において、区の高齢福祉サービスの情報提供や認知症高齢者への対応事例等の意見交換を行ったほか、医療機関連絡会にて、医療機関関係者との事例検討を実施し、緊急時の相互連携について意見交換を行いました。</p> <p>緊急ショートステイについては、区立施設の割合を高めた(区立特別養護老人ホーム 3 床→4 床、民間老人保健施設 2 床→1 床) ことで、路上保護や虐待等の困難事例の増加に臨機応変に対応することができました。</p>	13,846,000
高齢者等の権利擁護の推進	<p>成年後見制度について区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターにおいて、成年後見制度の活用に向け、窓口相談 (1,396 件)、専門相談 (44 件)、成年後見人養成講座 (基礎 3 回、実務 3 回、参加者 75 人)、窓口担当者法律セミナー (4 回、参加者 67 人) を実施しました。また、社会福祉協議会成年後見センター職員を地域学習会等に派遣し (10 回)、支援を行いました。</p> <p>家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て (25 件) を行いました。</p> <p>社会貢献型後見人の育成及び活用のために、社会福祉協議会成年後見センターの体制整備を進めました。また、本事業で養成した社会貢献型後見人候補者 (1 人) が、新規に社会貢献型後見人に選任され、後見監督人には、社会福祉協議会成年後見センターが選任されました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターでの法人後見の受任件数は 26 件 (法定後見 18 件、任意後見 7 件、後見監督 1 件) となりました。</p>	31,598,805

緑化推進

事業名	内容	決算額(円)
公園の整備	<p>田園調布せせらぎ公園について、グラウンド下散策路の造成工事と、どりの坂擁壁の設計委託を実施しました。</p> <p>佐伯山緑地については、用地を取得しました (612.77 m²)。隣接用地に関する協議確認書を地権者と取り交わしたことから、事業期間を 2 か年延伸しました。</p> <p>(仮称)南雪谷五丁目公園用地を取得しました (370.71 m²)。</p> <p>高畑第三児童公園、古径公園((旧名)南馬込一丁目南児童公園)、水神公園((仮称)南雪谷五丁目公園)、新井宿第一児童公園の整備工事を実施しました。</p>	514,015,796

事業名	内容	決算額(円)
魅力ある公園のリニューアル	<p>公園のバリアフリー化を推進するため、萩中公園、洗足池公園、平和の森公園、本門寺公園、池上梅園の整備工事を実施しました。</p> <p>また、大森北青空児童公園、田園調布南公園、宝来公園、久が原光児童公園、竹の子児童公園、多摩川二丁目児童公園、高畑第四児童公園の遊具改修を行いました。</p> <p>桜の保全、更新については、洗足池公園で桜の更新工事を行い、桜を3本植樹しました。</p>	165,115,130
呑川緑道の整備	<p>都市環境を和らげる風の道として、水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、緑道整備工事を実施しました(延長160m)。</p> <p>また、沿川の民間開発を行う事業者に対し、緑道幅員を確保するよう指導及び協力要請を行いました。</p>	23,940,000
桜のプロムナードの整備	<p>水と緑のネットワークの充実を図るため、散策路整備工事(310m)及び修正設計委託(370m)を実施しました。</p>	123,429,600
グリーンプランおおたの策定・推進(緑の基本計画改定)	<p>大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」を着実に実施するため、グリーンプランおおた推進会議(3回)、庁内推進会議(3回)、区民委員への説明会(1回)、作業部会(4回)を開催し、計画事業の進捗状況の確認や情報共有を行いました。</p> <p>みどりの施策調査を実施し、保護樹木・樹林所有者へのアンケートと現地調査、1㎡の緑づくり調査を行いました。</p> <p>平成24年度に実施したアンケート調査の結果を基に、「まちの緑の図」を作成し、ホームページ上での公開や、18特別出張所での掲示を行うとともに、大田区公式ツイッターを利用した周知を図りました。</p>	2,556,015

道路の整備

事業名	内容	決算額(円)
身近な地域の魅力づくり	<p>「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の道路整備設計委託と、鉄道蓋かけ工事委託及び電線共同溝整備工事（延長109m）等を行いました。</p>	2,218,467,320
都市計画道路の整備	<p>主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、区画街路第1号線については、契約買収（4画地）を行うとともに、区画街路第1号線の道路整備設計委託、鉄道蓋かけ工事委託及び電線共同溝整備工事（延長109m）等を実施しました。</p> <p>補助44号線については、契約買収（1画地）、土地収用手続（1画地）を行いました。また、道路修正設計委託、電線共同溝整備工事（延長300m）等を実施しました。</p> <p>補助43号線については、契約買収（11画地）を行うとともに、復元測量、管理舗装（舗装面積431㎡）を実施しました。</p> <p>補助38号線については、契約買収（1画地）を行うとともに、道路基本設計修正委託、電線共同溝予備設計委託（延長640m）を実施しました。</p>	460,252,859
京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	<p>用地取得については、大田区土地開発公社に依頼して先行取得した画地のうち398.01㎡を買戻しました。また、交渉に応じてもらえず取得困難な画地について、土地収用法に基づく土地取得の申請を行いました。</p> <p>街路整備については、弾正橋架替工事（補助328号線）、電線共同溝整備工事（区画街路2・3号線、本線附属街路2号線）のほか、京急蒲田駅東口歩行者専用道1号線の整備を国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所へ委託しました。また、街路整備詳細設計委託、電線共同溝詳細設計委託等を行いました。</p> <p>東京都受託事業については、関連側道整備のための詳細設計委託、境界確認調査委託等を行いました。</p>	2,546,593,100